



MISATO Town Assembly

議会だより

2015 4 No.34

発行／宮崎県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137



お雛さまとさげ飾り展(年の神/西郷伝統芸能伝習館)



目次

- 3月定例会……………2～3P
- 一般質問 10名登壇……………4～8P
- 議会活動・編集後記……………9～10P

提出された議案と審査結果

(第1回定例会 3月4日～18日)

議案番号	議案名	審査結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	同意(全員一致)
同意第1号～3号	東臼杵郡公平委員会委員の選任について	同意(全員一致)
承認第1号	美郷町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分(専決第10号)の承認を求めることについて	承認(全員一致)
議案第1号	町道路線の廃止について	可決(全員一致)
議案第2号	町道路線の認定について	可決(全員一致)
議案第3号～10号	公の施設の指定管理者の指定について	可決(一部賛成多数)
議案第11号	美郷町、諸塚村及び椎葉村における消防救急無線及び防災行政無線(移動系)の構築及び運営に関する事務委託に関する規約について	可決(全員一致)
議案第12号	共有地の管理及び処分に関する事務の委託に関する規約の変更について	可決(全員一致)
議案第13号	八峽辺地総合整備計画の策定について	可決(全員一致)
議案第14号	美郷町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第15号	教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第16号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(賛成多数)
議案第17号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第18号	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例	可決(賛成多数)
議案第19号	教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例	可決(全員一致)
議案第20号	美郷町行政手続条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第21号	美郷町税条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第22号	特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第23号	美郷町公の施設条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第24号	美郷町使用料徴収条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第25号	美郷町営住宅条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第26号	美郷町営賃貸住宅条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第27号	美郷町地域包括支援センターが包括的支援事業を実施するための基準を定める条例	可決(全員一致)
議案第28号	美郷町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例	可決(全員一致)
議案第29号	美郷町介護保険条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第30号	美郷町寝たきり老人等介護手当支給条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第31号～38号・48号	平成26年度美郷町一般会計・特別会計補正予算	可決(一部賛成多数)
議案第39号～46号	平成27年度美郷町一般会計・特別会計予算	可決(全員一致)
議案第47号	工事請負契約の変更について	可決(全員一致)
請願第1号	「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択(賛成少数)
発議第1号	合併特例債の適用期間の再延長を求める意見書	可決(全員一致)

議案の表決結果(上記結果のうち賛成多数の議案です) ●反対

議案名	議員名	那須富重	尾上忠保	黒田仁志	富井裕瑞	森田久寛	甲斐勲一	新玉卓教	園田義彦	小路文喜	小田照男	甲斐秀徳
議案第8号 公の施設の指定管理者の指定について(南郷温泉施設)										●		
議案第9号 公の施設の指定管理者の指定について(美郷町南郷山草森林交流施設)			●							●		
議案第16号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例										●		
議案第18号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例										●		
議案第48号 平成26年度美郷町一般会計補正予算(第11号)										●		
請願第1号 「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」の提出を求める請願		●	●	●	●	●	●	●	●		●	●

平成27年度 予算概要

一般会計 歳入歳出予算総額86億6,984万円

平成26年度予算(骨格)と比較して22.1%の増額、また平成26年度6月補正後(肉付け)予算との比較では、7.8%の増額となった。今年度は、庁舎建設設計や南郷温泉太陽光発電施設整備、救急車購入、防災無線施設整備等の大型事業が重なったことや国の地方創生事業に呼応する積極的予算となっている。

会計別	27年度当初	26年度6月補正後	比較	増減率
一般会計	86億6,984万円	80億4,499万円	6億2,485万円	7.8%
国民健康保険事業特別会計	12億8,505万円	11億5,999万円	1億2,506万円	10.8%
介護保険事業特別会計	10億4,535万円	10億4,407万円	128万円	0.1%
簡易水道事業特別会計	3億704万円	2億6,681万円	4,023万円	15.1%
農業集落排水事業特別会計	1億2,497万円	1億2861万円	△364万円	△2.8%
後期高齢者医療事業特別会計	2億2,640万円	2億2,527万円	113万円	0.5%
国民健康保険診療事業特別会計	3億2,634万円	3億3,437万円	△803万円	△2.4%
国民健康保険病院事業会計(収益的収支)	6億3,148万円	5億8,489万円	4,659万円	8.0%
〃(資本的収支)	5,552万円	4,658万円	894万円	19.2%
合計	126億7,194万円	118億3,553万円	8億3,641万円	7.1%

《特色ある事業・新規事業等》

- ①地域おこし協力隊の設置
(観光推進隊員、物産推進隊員として、2名を地域外から募集)……………6,907千円
- ②空き家対策事業(「空き家等対策計画」を策定)……………174千円
- ③美郷ふるさと産業文化祭(合併10周年記念事業として実施を予定)……………4,175千円
- ④ふるさと納税経費(ふるさと納税に対する返礼品送付・特産品のPRを図る)……………208千円
- ⑤保育料軽減措置事業
(長子の入所に関わらず、第2子、第3子への軽減を適用)……………2,640千円
- ⑥農産物生産振興費(ヒサカキを導入し、新たな品目での産地育成を図る)……………217千円
- ⑦野生猿特別捕獲班活動支援事業補助金……………500千円
- ⑧高規格救急車購入(北郷支所に配備)……………22,202千円
- ⑨防災行政(移動系)消防救急無線デジタル化事業……………576,607千円
- ⑩田代小学校屋内運動場屋根改修工事……………10,887千円

平成26年度 補正予算の概要

■一般会計主な内容

国の地方創生関連「地域住民生活等緊急支援のための交付金」関係事業費
～総事業費7千499万1千円～

【財源内訳：国県交付金6千621万3千円/一般財源877万8千円】

- ①商工会合同商品券事業補助金(30%プレミアム付商品券発行)……………24,275千円
- ②地域商品券事業補助金(町内宿泊施設利用者に対して交付)……………2,700千円
- ③総合戦略・人口ビジョン策定事業……………2,658千円
- ④婚活支援事業(男性向けセミナー・婚活イベントの実施)……………3,000千円
- ⑤救急救命業務導入事業(救急救命士6名配置)……………30,660千円
- ⑥出産奨励祝金事業(30千円/1件)……………900千円
- ⑦妊婦等健康診査事業(妊婦・乳幼児の健康診査の無償化)……………3,498千円
- ⑧子育て応援商品券事業補助金(0歳児～高校生に対し、10千円/1人の商品券を交付)……………7,300千円

3月
定例議会

平成27年3月定例議会は、3月4日～18日までの15日間開催され、平成27年度一般会計及び特別会計予算をほじめ、平成26年度一般会計・特別会計補正予算等60件の議案等が提出され、いずれの議案も原案のとおり可決しました。

一般質問

町政を問う

平成27年第1回定例会の一般質問は、3月5日、6日の2日間にわたり、10名の議員が行いました。
本定例会での主な質問と答弁の内容は、次のとおりです。

小水力発電建設について



新玉 卓教 議員

【問】平成二十六年第三回定例会の一般質問にて、小水力発電建設について伺った時、答弁で県企業局の水量調査後検討課題としたこととあった。その結果はどうか。また、調査結果を踏まえた今後の方向性について伺う。

【答】調査結果から工事費が多大有り、費用採算が十九年に及ぶので小水力発電建設は考えていない。



【問】当初予算について
①平成二十七年当初予算の歳入に占める地方交付税額は平成二十六年に比して増額か減額なのか。また、今後の見込みについて伺う。

【答】平成二十七年は平成二十六

消防団員の確保について



小田 照男 議員

【問】常備消防を持たない本町では消防団は地域の唯一の防災機関であるが、過疎高齢化等で団員は年々減少している。安心安全な町づくりのために消防防災力の強化、特に消防団員の確保は緊急を要する。その対応について伺う。

①消防団員の確保にどういった方策をとられているか。

【答】消防団に対する理解を得るためのPRを行うとともに、団員の八割は雇用者で事業主の理解と協力が不可欠であり、一層努力していきたい。

②消防団に加入していない者への対策(勧誘)はどうしているか。

【答】各部長を中心に勧誘しているが、個人の意思を尊重しつつ、地域の協力もいただきながら加入促進に努める。

③団員の確保が困難な中で女性消防団の創設を考えるべきでは。

【答】消防団の活動の多様化で女性

ダム・発電所について



富井 裕瑞 議員

【問】南郷・西郷にはダムと発電所がある。町の大きな財源である反面、魚道等河川の管理にも、永年にわたり良き結論をみていない。今後、被災が想定される関係地域への整備等に対して助成事業はできないか。

【答】必要な箇所については整備を行う。

【問】獣害被害対策について
①近年、金網柵が主流になって、各地区で施工設置されているが、この事業を含めての継続性と効果について伺う。

【答】金網柵は、有効であり要望のある限り国の事業を活用して実施する。

②事業の決定及び施工完了日、年度末に集中し、工期的に厳しい集落もある。今後の事業は、水稲収穫後以降を目的に設置出来る様にできないか。

【答】国の事業であるが、早期搬入

乾椎茸品評会の対策とブランド化の推進について



森田 久寛 議員

施工出来る様に努める。
【問】国の地方創生事業について地方創生事業に対し、町はどの様な計画をたてるのか。また、どの程度の効果があると思われるか。

【答】町本部を設置し、まち・ひと・しごと好循環を確立し計画実行する。

【問】乾椎茸品評会について、本町は他の町村に比較すると成績に差がありすぎると思うが、その原因について、また、品評会の出品物を作ることで椎茸ブランド化の推進に繋がるのではないか。

【答】品評会に出品する品物を作ることで美郷町の乾椎茸ブランド化に繋がると思う。平成二十六年年度の品評会の状況を見ても団体優勝の椎葉村、二位の五ヶ瀬町、三位の諸塚村に比較すると本町は出品点数にかなりの差があるが、合併

前に旧西郷村が平成元年、二年に連続優勝した実績があり、今後、経験豊かな生産者の意見を参考にし、意欲のある若手の生産者の育成を図り、品評会で入賞できるように推進したいと考える。

【問】鳥獣被害防止総合対策交付金事業について(侵入防止柵)

本町の現在までの進捗状況と残り要望箇所の距離、また、今後の課題と問題点について伺う。

【答】平成二十二年度から二十三年度、十三地区で六・三キロ、平成二十四年度から二十五年度、十二地区で二六・二キロ、今年度六十地区で百三十一・二キロ、合計八十五地区で約百六十三・七キロの進捗状況である。この事業は全国的に要望が多く一市町村単位での協議会では国からの予算の配分が少ないことから、県の指導を受けて平成二十四年度に美郷町、椎葉村、諸塚村の一町二村で東白杵西部鳥獣被害防止対策協議会を設立し、予算の確保に努めている。申請希望の農家に関しては、全部設置できるよう努力したい。フェンス周辺の管理については、安全面に十分注意して作業を行うよう指導したい。



地方創生に関する施策について



尾上 忠保 議員

①政府は地方創生について、「日本の創生」は「地方創生」なくして出来得ないということを力強く言われている。この地方創生について、「人的支援」が大きく報道されており、町長の補佐役についても国が支援をするという考え方である。「人的支援」について、町長の考え方を伺う。

【答】今のところ国への人的支援の要望は考えていない。作業部会の中で戦略を練りながら、今後の取り組みを進めたい。

②「地方創生」について、有識者を含め、特別委員会を立ち上げる考えはないか。

【答】既に町の本部を設立している。町民の意見を拝聴しつつ、作業部会で戦略を練り上げ、政策を打ち出していきたい。特別委員会については、議会の考え方にお任せしたい。

就任後二年目の政策について



甲斐 秀徳 議員

①林業問題について
木質バイオマス発電、木材の輸出等今後ますます林業が勢いづくのではないか。今後林業作業員、再造林するための杉苗も不足するのではないか。この事をどの様に考えるか。

【答】担い手対策が急がれる今、緑の青年就業支援事業を活用し、県の事業への上乗せも検討している。県内苗木生産業者へ生産委託し、苗木を確保、また、町としては苗木部会、森林組合と連携し苗木不足に対処して行きたい。

②鳥獣害について

【答】未設置箇所は獣害が多発する恐れがあり、どの様に対処するか。また行き場を無くした獣と車の接触事故が多発しているが、その防止策とサル対策について伺う。

【答】これは国の事業で行っている

ので、未設置の箇所はほとんど要望していただき、国の支援を受けながら実施していく。運転者も十分注意して通行するしか手立てはないが、出来ることは行いたい。サルによる被害が増えているので、捕獲補助金を五万円に増額した。またサル捕獲専門班を設置する。

③小中一貫教育について

北郷も今年から小中一貫教育が始まり、残すは西郷のみであるが、従来どおり施設連携型でいくのか。

【答】西郷の幼小中の関係者が検討会を発足させて施設一体型の教育の協議を始め、検討を重ねている。町としては、その検討結果を静観したい。重点政策の中で学校教育の充実を掲げ、小中一貫教育の推進を謳っている。

④農業について

農協改革も始まり、米価格の暴落、TPP問題等、先の見えない農業である。今後町としての舵取りはどの様にするのか。

【答】制度事業を有効に活用し、農家の所得安定と担い手対策強化も図り、総合計画書に沿って進める。



農林業政策について



那須 富重 議員

①美郷町の基幹産業である農林業の衰退が懸念される。二十七年年度の施政方針の中に農林業の振興策として六項目にわたり掲げられているが、農林産物生産の現状をどのように捉えられているか。

【答】美郷町総合計画の中の主要二十二品目中、六品目については計画年次である二十八年度中に目標達成できる見込みである。中でも栗、シキミ、ブローラーについては順調に生産拡大が図られているが、他の品目については高齢化に伴う担い手不足により、生産拡大が厳しい状況である。これらの問題解決が農業振興の一番の課題と考え取り組んでいく。

②農産物の販売方法にもっと目を向け、新しい発想で情報を収集し、美郷町発の取り組みと、その成功例を生み出す努力が必要と考える。

【答】アイデアを出して、今後、しっ

国民健康保険制度について



小路 文喜 議員

【問】町民の負担感が強い国民健康保険税については一世帯一百万円の引き下げを検討すべきと考える。

【答】町民の負担感は認識をしている。負担が重くならない方向で検討したい。

【問】合併の関係で、来年度より地方交付税が減額される。美郷町の将来を見据えた財政運営が必要と考える。

【答】基本的には長期財政計画に沿って財政運営を行う。

【問】森林保全、技術継承等や人口対策の観点から、林業労働者確保対策を講じる必要があると考える。

【答】全体的な協議の中で十分検討を進める。

【問】「足湯」設置は観光対策の一つとして効果があると考える。

【答】設置は管理もあり困難である。

かりと取り組んでいく。

③近年、椎茸価格が低迷しており、新規の作物としてヒサカキなどにシフトを検討している生産者があるが、将来的に美郷町総合計画に定めた作物に指定して頂くことを前提に、積極的な支援をお願いしたい。

【答】椎茸は町にとっても一億円産業でもあり、必ず持ち直すと期待し、しっかりと取り組んでいく。ヒサカキについては生産者自ら取り組んでいるが、町としても二十七年年度に展示圃を設けて支援する。柿については目標を持って取り組んでいるので、行政として意欲を削がない範囲で支援すべきところはしっかりと取り組んでいく。

【問】六次産業の推進について
町内には農産加工を手掛けているグループが多々あり、加工施設も充実したものがあると認識している。農産加工施設の活用状況について伺う。

【答】農産物加工施設については町が目的を持って設置した加工場であるが、現在、ほぼ全般的に活動している。休止中の梅加工施設についても一般公募をしていく。

【問】企業誘致について
海外進出を図っている企業にも円安効果により国内回帰の動きもあるが、企業誘致は大変重要と考える。

子ども議会について



黒田 仁志 議員

①昨年十二月に子ども議会が開催されたが、生徒たちの提言について率直な感想を伺いたい。

【答】(町長) 子どもたちなりによく考えているのだと感じた。

【答】(教育長) 子どもたちの故郷を愛する気持ちにあふれた声を聞き美郷科教育の効果を感じた。



平成26年12月開催子ども議会

委員会活動

《所管事務調査》

■ 総務常任委員会

1. 調査日 平成27年1月13日(火)～14日(水)
2. 調査の場所 高知県四万十町
3. 調査の目的 第三セクター「株式会社 四万十ドラマ」の状況について
平成6年に四万十流域の3町村の出資により設立され、平成11年には補助金なしで黒字化を達成、「道の駅とおわ」の運営や体験型観光ネット販売等を手掛け、着実に収益を伸ばしている。



総務常任委員会事務調査

■ 産業建設常任委員会

1. 調査日 平成27年1月30日(金)
2. 調査の場所 耳川広域森林組合美郷支所・町有林主伐跡地
3. 調査の目的 町有林の主伐に係る町と森林組合との長期施業委託契約について、木質バイオマス発電について、林業担い手対策について
主伐跡地(西郷字津神)の現地を調査し、森林組合及び施業した作業班長からの説明並びに木質バイオマス発電の今後の事業展開(現在の概況)等について説明を受け、意見交換を行った。



産業建設常任委員会事務調査

《平成27年度予算等審議特別委員会》

3月定例会会期中9日～16日までの5日間、本委員会を開催して、副町長以下、各課長、各支所長、担当係員の出席を求め説明を受けた後、審議を行い、慎重に審査を行った。

■ 現地調査

- ① 農業基盤整備促進事業用水路整備 (北郷/池の原)
- ② 八峽辺地総合整備事業 (西郷/町道和田・上八峽線)
- ③ 道路橋梁災害復旧事業 (西郷/町道尾迫・日ヶ隠線)
- ④ 田代小学校 (施設修繕・屋内運動場屋根改修)
- ⑤ 南郷温泉 (太陽光発電システム整備工事)
- ⑥ 中山間地域総合整備事業 (南郷/無田地区・舗装)
- ⑦ 急傾斜地対策事業 (南郷/長堀地区)



田代小学校

ている。現在の情報収集活動の現状とを考えを伺う。

【答】 企業誘致は担当課を含め、情報収集に努めているところであるが、引き続き取り組んでいく。

【問】 地方創生について

地方創生のために政府は人材派遣もするとしている。地方交付税も打ち切られようとしている今、中央との太いパイプを作って中央に声を届けるためにも、それが出来る人材の確保が重要と考える。

【答】 作業部会の中でしっかりと検討していく。

農産物処理加工施設(ニューホープセンター)の拡充について



甲斐 勲一 議員

① 農産物加工施設は食生活改善の拠点となっている。利用者の利便性を考慮したセンター調理室との一体的利用は図れないか。
【答】 当施設は婦人グループを中心に農産加工の利用が高い。美郷ト

ンネルの開通で更に利用が見込まれるため、施設が利用しやすいよう調理室の活用を考えていきたい。

② 加工施設は老朽化している。補修の考えはないか。また、味噌加工作業負担軽減のため、攪拌機の導入はできないか。
【答】 そのような要望も含め、調査しながら前向きに取り組みたい。

【問】 水道行政について
① 峰簡易水道排水池、浄水場はかなり老朽化が進んでいる。整備計画を伺う。

【答】 今のところ具体的な整備計画はないが、突発的な断水を防止するため、水位低下通報システムを導入する。

② 簡易水道施設の集中管理から広域水道再編を推進する考えはないか。
【答】 国県の有利な情報収集に努め、検討していきたい。

③ 小規模水道地区の水源確保のための工事は補助基準を大幅に超える場合がある。現行補助基準を見直し、渇水対策を支援することはできないか。
【答】 水源確保は重要である。負担軽減が図れるよう検討したい。

【問】 介護保険の動向と施設入所待機者対策について
① 今後の要介護者対策と入所自宅待機者解消対策について伺う。

【答】 第六次介護保険事業計画三年計画を実施性のあるものとして具体的に進めていく。平成二十九年度では、特別養護老人ホームの十二床増床を計画に盛り込んでいく。

② 中心的役割を担う社会福祉協議会の体質強化について考えを伺う。
【答】 社協は計画の実現に向けて重要な組織である。従来に引き続き、人材を含めた運営支援について配慮していきたい。

定例会のご案内

定例会会期日程、一般質問通告一覧を掲載しておりますのでご覧ください。

* 美郷町ホームページ(URL)

<http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>

* きららびじょん文字放送(12ch)

傍聴席へどうぞ!!

お問い合わせは議会事務局へ
(電話 66-3607)

次の定例会は、6月10日開会予定です。



3月定例会には、ご多用の中、延べ22人の方に傍聴に来ていただきました。ありがとうございました。

3月定例会 傍聴者から

傍聴のご感想をいただきましたので、ご紹介いたします。

(※傍聴アンケートより)

- 重複の質問も多いようであるが、事前に調整できないのでしょうか。
- 要点をまとめて質問してほしい。時間がかかりすぎる。
- 質問の通告が違っていても、質問の内容が同じ様に聞こえる部分が多いように思われた。質問内容を要約し、簡潔に質問することで傍聴者の理解が得られるのではないのでしょうか。

～アンケートへのご協力ありがとうございました～

議 会 活 動

1月

- 1日／南郷温泉初商
- 3日／美郷町成人証書授与式
- 5日／美郷町消防出初め式
- 6日／新年挨拶まわり（県本庁・出先機関等～7日）
- 9日／南郷商工会新春懇談会
- 11日／第5回宮崎県市町村対抗駅伝大会・開会式（～12日）
- 13日／総務常任委員会所管事務調査（～14日）
- 21日／例月現金出納検査
- 28日／時局講演会
- 29日／東白杵郡町村監査委員研修（～30日）
- 30日／産業建設常任委員会所管事務調査



時局講演会

2月

- 2日／東九州新幹線鉄道シンポジウム
- 3日／国道388号整備促進要望活動現地調査
- 5日／県北部広域行政事務組合議会
- 9日／日向東白杵広域連合議会運営委員会
- 11日／門川町制施行80周年記念行事
- 12日／県町村監査委員協議会第56回定期総会・研修会
- 15日／黒木小学校閉校式
- 16日／入郷地区衛生組合議会 / 日向東白杵広域連合議会
- 19日／国保運営協議会 / 県町村議会議長会第66回定期総会
- 21日／北郷小学校閉校式
- 22日／第18回ロードレース in 百済の里
- 23日／例月現金出納検査
- 24日／日向市・東白杵郡町村議会議長連絡会研修会
美郷町合同金婚祝賀会
- 25日／議会運営委員会・全員協議会
- 26日／成年後見制度フォーラム



産業建設常任委員会現地調査(西郷宇津神)



日向市・東白杵郡議員研修会

3月

- 1日／災害ボランティアセンター運営実施訓練
- 2日／東白杵郡町村議会議長会定期総会
- 4日／第1回定例会（～18日）
- 7日／耳川諸塚中心部水防災事業竣工式
- 17日／町内中学校・美郷南学園卒業式
- 23日／例月現金出納検査
- 24日／町内幼稚園卒園式
- 25日／町内小学校卒業式
- 31日／西郷地区戦没者追悼式
／議会広報特別委員会



第1回定例会現地調査(町道尾迫・日ヶ隠線)

編集後記

突然、東日本大震災のようなものが美郷の地に起きたら皆さんどのように対応したでしょうか…。
幸いにして地震が少ない地で生まれ育ったことを幸福に思い、被災地の方々の一日も早い復興を願わずにはいられません。

三月四日から十八日まで、第一回定例会が開催されました。予算は一年間の収支の見積りであり、町民に対して、どれほどの公租公課を義務付け、どんな行政サービスに努めるかを約束するものであり、直接、町民の生活を左右するものですから、それを審議する議会議員としてしっかりとその職責を全うすべく努めて参ります。

合併して早いもので十年目を迎えておりますが、議員の質問も町全体の問題や各地域の問題等、多岐にわたっています。
町内各地区の皆さんの一体感が図られているでしょうか。

三月の定例会は、二十七年度当初予算を決める大切な議会でした。議会傍聴には二十二名の方にお出で頂きました。

六月議会には更に多くの皆様に傍聴にお出でいただき、町行政を心眼で見守って頂きますようお願い致します。

(編集委員)

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 黒田 仁志 |
| 副委員長 | 森田 久寛 |
| 委員 | 那須 富重 |
| 委員 | 甲斐 秀徳 |
| 委員 | 甲斐 栄 |

〓〓意見をお寄せください〓〓